

海老名市立今泉小学校 学校運営協議会 議事録
(令和5年度 第3回)

- 1 日時 令和5年11月13日(月) 13:30~15:00
- 2 場所 海老名市立今泉小学校 CSルーム
- 3 出席委員 木島智恵美委員長、守屋佐千子副委員長、中野隆則委員、
和泉雅幸委員、成瀬由紀子委員、
和田修二委員(校長)、武富美由紀委員(教頭)
石川雄一郎委員(総括教諭)

4 会議の内容

○開会

○委員長挨拶(木島委員長)

○学校長挨拶(和田校長)

【協議事項①】学校の様子について(説明:和田校長)

和田校長:第2回学校運営協議会以降の主な学校の様子を説明する。

インフルエンザの流行はあったものの、学級閉鎖をする程には至っていない。

[運動会]

- ・10/14に「協働と感動」をテーマに開催した。
- ・多くの保護者や来賓等が来校され、大盛況だった。
- ・子どもたちの頑張っている姿に成長を感じた。

[5年稲刈り]

- ・子どもたちは慣れない鎌を握って、稲刈りの貴重な体験ができた。
- ・学校応援団や青健連、保護者や地域のボランティアにご協力いただいた。
- ・「生命の源 いずみ新田」という新しい看板を設置した。

[今フェス]

- ・初めて学校と学校応援団との共催で開催した。
- ・多くの来校者があったが、大きな混乱はなかった。
- ・子どもたちは好きなブースを回って楽しんでいた。
- ・体育館では、先生方による音楽コンサートを披露した。

守屋委員:今フェスには、民生児童委員としてブースを出し、子どもたちと触れ合うとともに、保護者へ民生児童委員の活動を周知できた。

中野委員:青健連のブースが大盛況で、他のブースを見に行けないほど忙しかったけれど、青健連の人たちは子どもと話ができて楽しかったようだ。

成瀬委員：今年の開催でイメージができたので、来年は協力者が増えるかも。

木島委員：学校応援団としても大きな問題は聞いていない。今年の反省を踏まえて来年も開催したい。

和田校長：学校と学校応援団が協力して、学校・保護者・地域が連携するシンボリックな素晴らしいイベントになった。

【協議事項②】令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について（説明：校長）

和田校長：4月に6年生が受けた調査結果を説明する。これは、学校HPにも掲載する。

〔国語〕

- ・漢字の習得や文章や資料の読み取りは比較的できていた。
- ・問題を解くのに時間がかかることと自分の考えを記述することに課題があった。

〔算数〕

- ・全国比で概ね高い正答率だった。

〔児童質問紙〕

- ・「学校に行くのは楽しい」「国語や算数の授業の内容はよく分かる」などの質問に「当てはまる」と回答した割合が高かった。

和泉委員：勉強はできる子は好きで、できない子は嫌いだ、個性として受け入れたい。

成瀬委員：学力は地域差があると思うが、個に応じた指導を学校にはお願いしたい。

木島委員：学力だけでなく生活面においても同様。また、いじめはどんな理由があってもいけないこと。あそびっ子クラブでも、子どもによって受け止め方が違うので丁寧に対応している。

【協議事項③】令和6年度学校予算について（説明：校長）

和田校長：学校は、市と委託契約をして、割り当てられた予算の範囲内において学校運営をしている。令和6年度の本校の予算は約400万円を見込んでいます。そのうちの一定の金額を使って「特色ある取組」を推進するために使いたい。「特色ある取組」は①校内研究の充実、②社会に開かれた教育課程、③新たな学校施設の活用、④特別活動の充実の4つを考えています。

木島委員：今泉小は、農業体験や今フェス、保護者ボランティアを充実させるために、予算を計上する必要がある。

中野委員：児童数が多くなるので、消耗品はどうしてもかかってしまう。

和泉委員：予算要望には、事業目的を明確にすることが大切。新校舎の運営や行事の充実のためには、予算は必ず必要。

【情報提供①】「インクルーシブな今泉小学校」について（説明：校長）

和田校長：これまででもご説明してきたとおり、今年度の本校はインクルーシブな学校づくりの研究をしている。9月に国際協力機構（JICA）の視察団が、本校を視察に

来た記事が各種新聞に掲載されたのでお知らせする。

【情報提供②】令和6年度の児童数について（説明：校長）

和田校長：令和6年度の新1年生は、現時点において220名以上入学する見込みで、第1学年通常級は7学級になり、全児童数は1,000名を超える予定。

○閉会あいさつ（守屋副委員長）

➤ 次回の学校運営協議会は、令和6年2月13日（火）13:30から開催。